

改正建築基準法施行に向けて **判定サービス** をご提案しています。

構造判定サービスの提案

住宅は構造重視の時代へ！

N値から3階住宅の確認申請書類まで幅広いメニューをご用意して安全な家づくりをお手伝いします。

構造判定サービス業務の詳細

こんな業務を行っていますヨ！

A N値計算

■住宅瑕疵担保責任保険への 提出書類として

壁量・バランスは計算済の図面で、N値・HD金物の計算をいたします。

その建物に合った柱脚・柱頭金物をCADシステムで計算することにより、適切な金物配置が可能となります。

C 構造計算書 (木部のみ)

■お客様への営業アイテムとして

許容応力度による構造計算をいたします。

プレカットCADデータを基に構造計算を行い、構造躯体1本1本が十分な強度であることを確認します。(ただし、基礎および水平構面の計算はいたしません。)

■確認申請時の提出書類として

最終図面で、壁量・バランスN値・HD金物の計算をいたします。

地震や台風から住宅を守るために耐力壁が必要です。その建物に合った必要壁量を計算ならびに配置し、バランス(偏芯率)を判定します。

B 壁量 N値計算書

■3階建住宅の確認申請書類として

許容応力度による構造計算・構造計算概要書の作成をいたします。

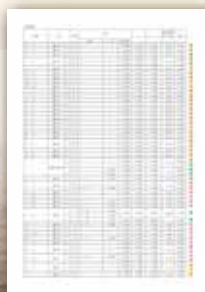
3階建もしくは500㎡を超える木造軸組在来工法の建物を建築する場合に必要となります。

D 構造計算 (基礎・木部)

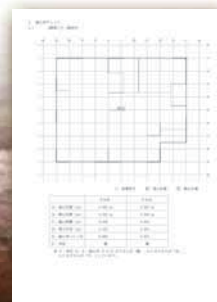
(基礎・木部)



▲N値計算書サンプル



◀金物伏図サンプル



▲偏芯率サンプル

※本計算は『木造軸組工法住宅の許容応力度設計(第3版)』[(財)日本住宅・木材技術センター発行]に準拠した構造計算ソフトを使用しており、(財)日本住宅・木材技術センターの木造建築物電算プログラム認定を取得しております。

